

テーマ「造形表現」

様々な素材に出会い探究することで素材について知る。イメージを広げて素材を選び、その素材の特徴を活かして表現する楽しさを味わう。また、子どもたちが作った作品を展示することで、他の子どもたちの表現や考えに触れる機会を持つ。

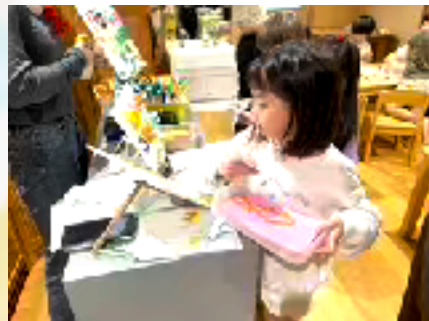
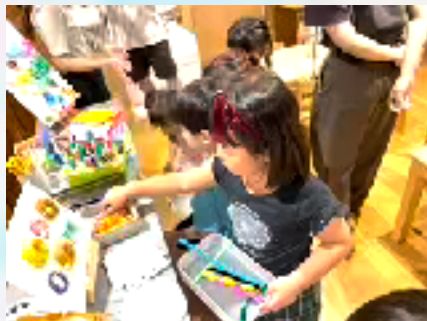
①コッコロ・フィラーレ「モノとモノを繋ぐ素材の面白さ」

子どもたちの今の遊びが、より深まるように保育者が遊びの提案をする「コッコロ・フィラーレ」という行事があります。今年度は、子どもたちが自分のイメージしたものを形にする面白さ、説明書を読み解き考えて作りあげる達成感、道具を使う行為そのものの楽しさを感じている姿から、ゴムやモール、ストローや紙といった、「モノとモノを繋ぐ素材の面白さ」を楽しむコーナーを考えました。素材の特徴を遊びを通して深く知ることで、モノとモノを繋げる仕組みの面白さを感じるだけでなく、子どもたちが“作ること”を楽しむ時の、経験とアイデアを繋げる思考を育むきっかけにもなればと考えました。

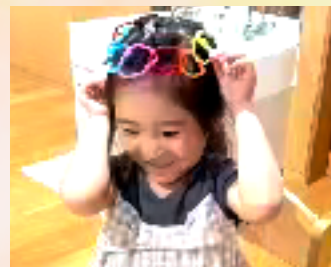
魅力的な素材との出会い



同じ素材を提供するのでも、「使ってみたい」、「綺麗」、「面白そう」と感じられるような魅力的な素材の見せ方を考えて環境を設定しました。



日ごとにテーマとなる素材を決めてじっくりと遊んでいきました。また、作品を作る前に、素材そのものに触れる時間をもちました。「ストロー」で遊んだ際は、紙やプラスチックのなど、ストロー特有の質感や、音など、子どもたちにとっても様々な気づきがあったようです。



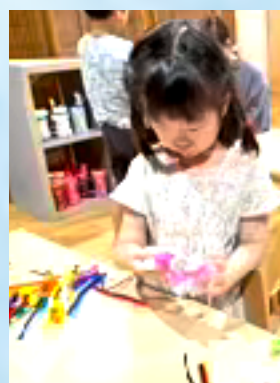
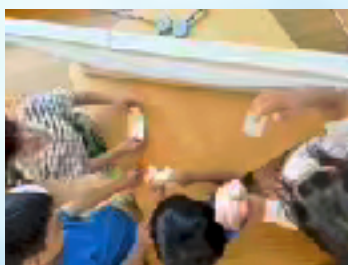
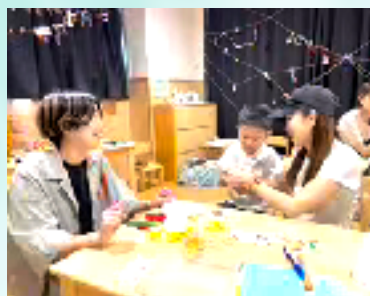
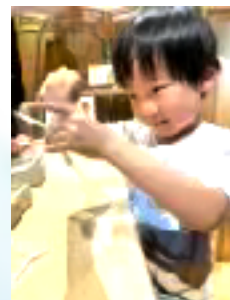
最初は丸を作って繋げており、それをティアラに見立てていました。



「モール」で遊んだ際は、素材の特徴を捉えており「もこもこしてて気持ちいい」「クネクネできる」「ぐるぐるしたらくっつく」という声もあがっていました。素材ならではの良さを感じる機会にもなったようです。

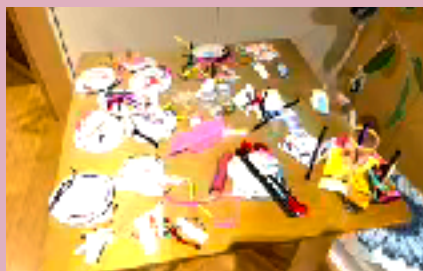
組み合わせることを楽しむ

素材単体で遊んだあと「ストロー×ゴム」「モール×ストロー」などそれらの素材を組み合わせても遊んでみました。子どもたちは「こんな風にも組み合わせできたよ!」と、遊んでいくうちに素材と素材を組み合わせるアイデアを次々に生み出しながら、“繋げる”ことの面白さを広げているようでした。また「家みたいでしょ」「これはハンガーみたいだよ」と繋げたモノの形を様々なモノに見立てる発想もとても豊かになっていました。身近な素材でも一人ひとりの豊かな感性、発想によって、こんなにも素敵なモノたちが生み出されていました。



子どもたちの作品の展示

子どもたちや保護者が見られるように、活動を行った部屋に子どもたちの作品を展示しました。



日を増すごとに、展示の部屋に子どもたちの作品が増えて豊かな空間になっており、子どもたち自身、その部屋へ行くことを楽しみにしている姿がありました。

振り返り

・今回の活動を通してじっくりと時間をとって経験する事で面白さを知り、その後のクラスでの遊びにも取り入れている姿がある。日常の中で素材の一つとして環境に出していたら、ここまで遊びが続かないように感じる。子どもの遊びから遠く離れず、身近な素材を使うことの面白さを感じた。

・子どもたちそれぞれの個性が見えた作品が多く、これまでの遊びの積み重ねを感じた。また、今まで保育の中でも遊んできた素材が今回の活動で多くの種類があることに驚き、多方向から発想している子どもたちの姿から、感触を楽しむようになったり、今までとはまた違った作り方が生まれたり、遊びが深まってく予兆が見られた。